



2007年7月期  
**中間決算説明会**  
～ 光を科学し、社会に貢献する ～

**シーシーエス株式会社**  
(ジャスダック 証券コード6669)

# 目次

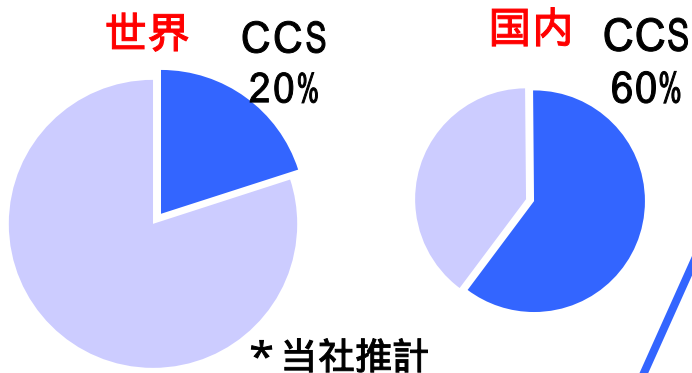
◆ 事業領域と市場環境	3
◆ 当社の強み	10
◆ 中間決算説明	13
◆ 上期の進捗と下期の計画	25

## 事業領域と市場環境

# シーシーエスの事業領域

## 工業用LED 照明事業

製造現場において  
画像処理の品質を支える



## その他新規分野

LEDの応用開発により  
新たな分野をインキュベート

顕微鏡用照明分野

バイオ分野

メディカル分野

LED応用分野

# 画像処理における変化

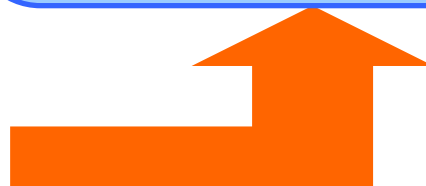
～ 目視から自動化へ～

## 《製造現場》

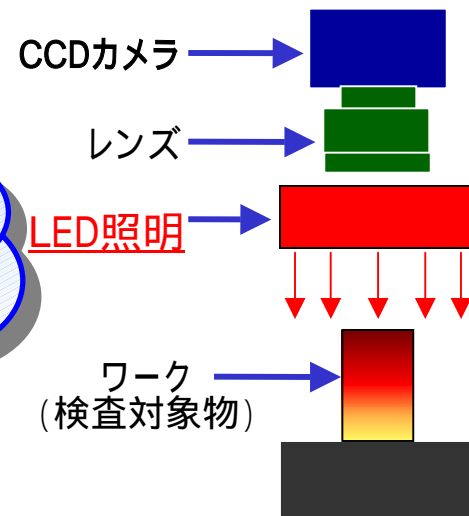
1. 製造のスピード化
2. 品質及び安全性重視
3. 装置の性能アップ  
低価格・小型化

## 《画像処理用照明》

検査項目の増加への対応  
検査用途の拡大



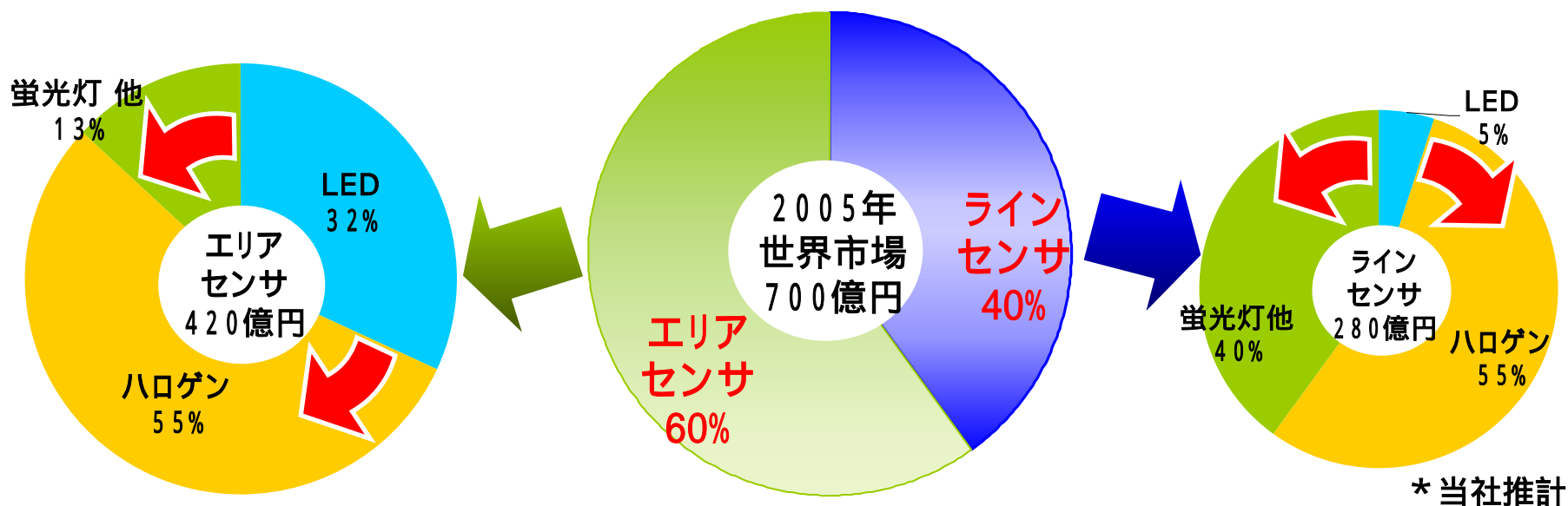
## 画像処理装置の基本構成



画像処理において  
照明の重要性が  
高まっている

# 画像処理用照明の市場規模

画像処理用照明市場の成長率 年5～10%



\* 当社推計

# ラインセンサとエリアセンサの違い

	エリアセンサ	ラインセンサ
カメラ	<p>エリアカメラを使い、面で画像をとらえる。</p> <p>例：デジタルカメラ(2次元で画像が取込まれる)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ラインカメラを使い、線で画像をとらえる。(線の組み合わせが、撮像対象全体の画像になる)</li><li>例：コピー機(スキャンの際、線をとらえて、その線の画像の組合せでコピーが可能となる)</li><li>・線をとらえるため、高速でとらえる必要がある。</li></ul>
照明	<ul style="list-style-type: none"><li>・光をとらえる素子が、複数列で並んでいる。</li><li>・面で光る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・光をとらえる素子が一列に並んでいる。</li><li>・高速でとらえないといけなないので、明るさが必要。</li><li>(LEDの明るさが足りないことで今まではLED照明の採用が進んでいなかった。)</li></ul>

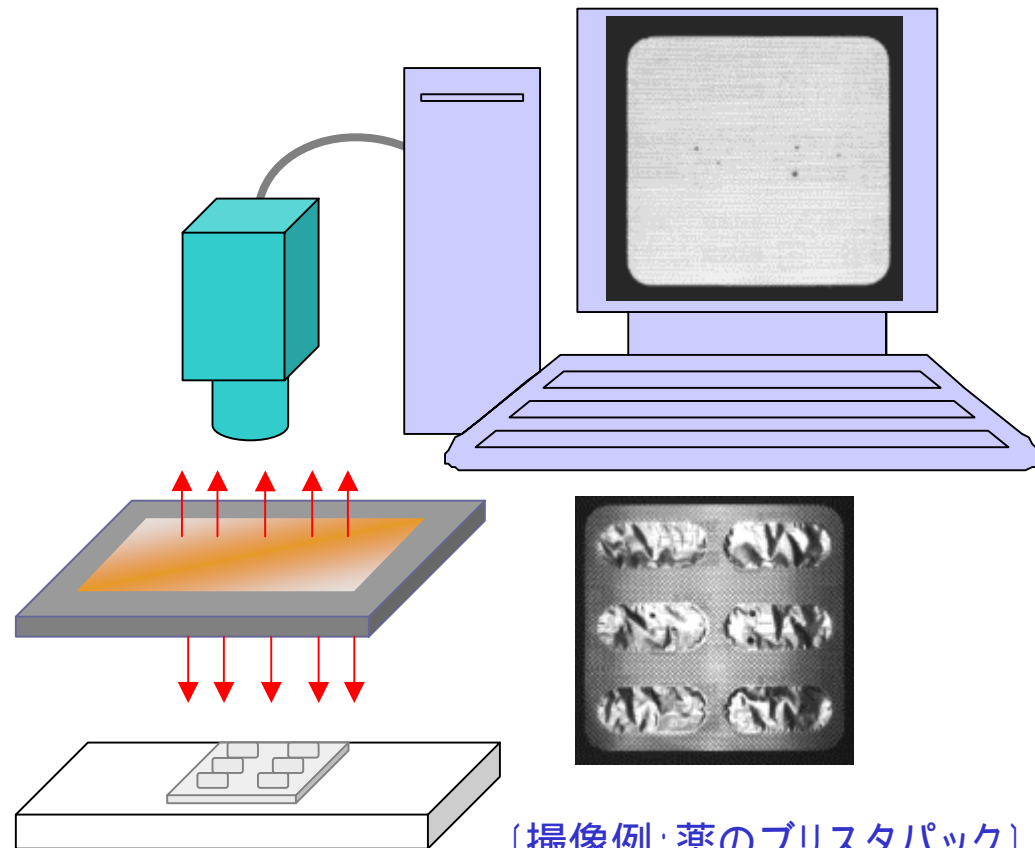
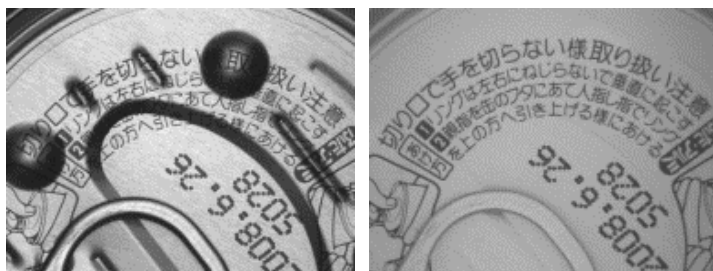
# エリアセンサカメラ用照明

カメラ	エリアカメラを使い、面で画像をとらえる。
照明	・光をとらえる素子が、複数列で並んでいる。 ・面で光る。

## パッケージの検査 異物やキズがないか

## 文字認識検査

管理コードや期限の表示が  
きちんと印字されているか



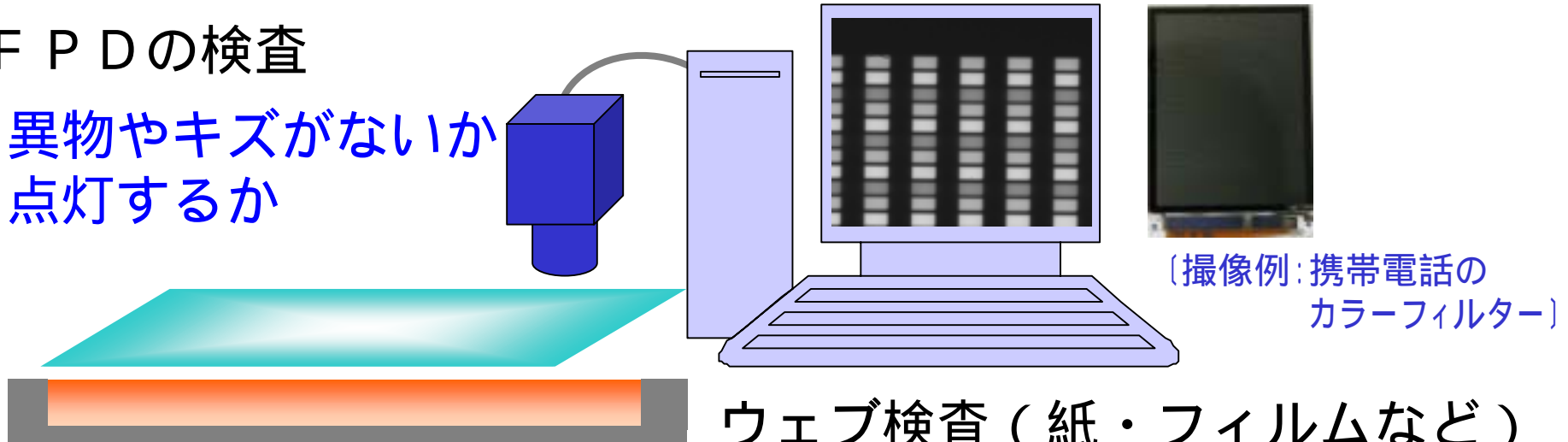
〔撮像例：薬のプリスタパック〕



# ラインセンサカメラ用照明

## F P D の検査

異物やキズがないか  
点灯するか



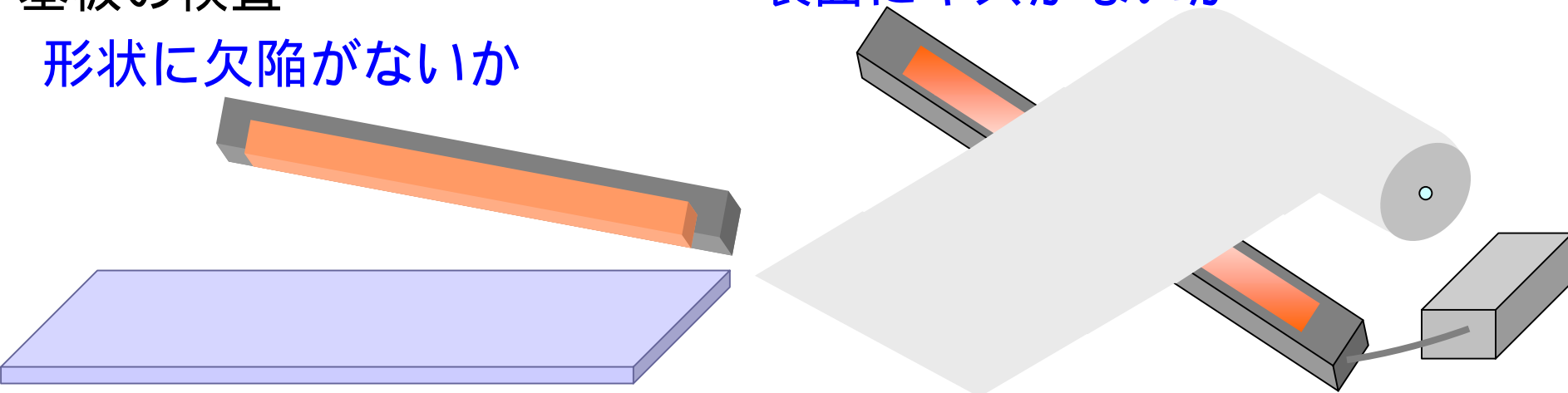
〔撮像例：携帯電話の  
カラーフィルター〕

## ウェブ検査（紙・フィルムなど）

表面にキズがないか

## 基板の検査

形状に欠陥がないか

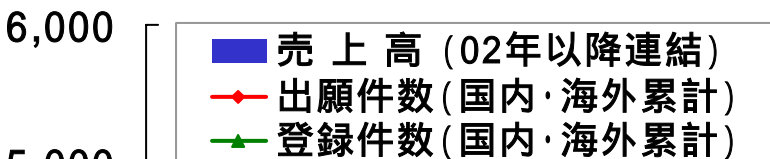


## 当社の強み

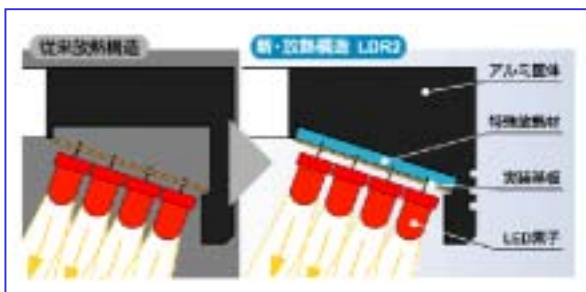
# 特許技術の保有

14期上期実績：  
出願 9件 - 国内 6件、海外 3件

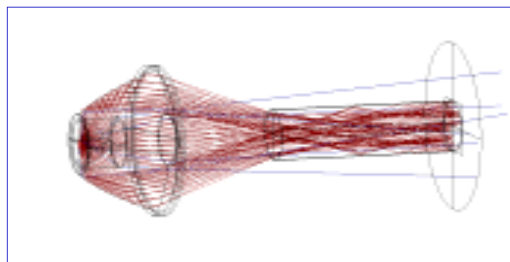
(単位:百万円)



\* 製造技術：FFC方式  
(フレキシブル基板フォールト・エック方式)  
【特許登録済・1999年】

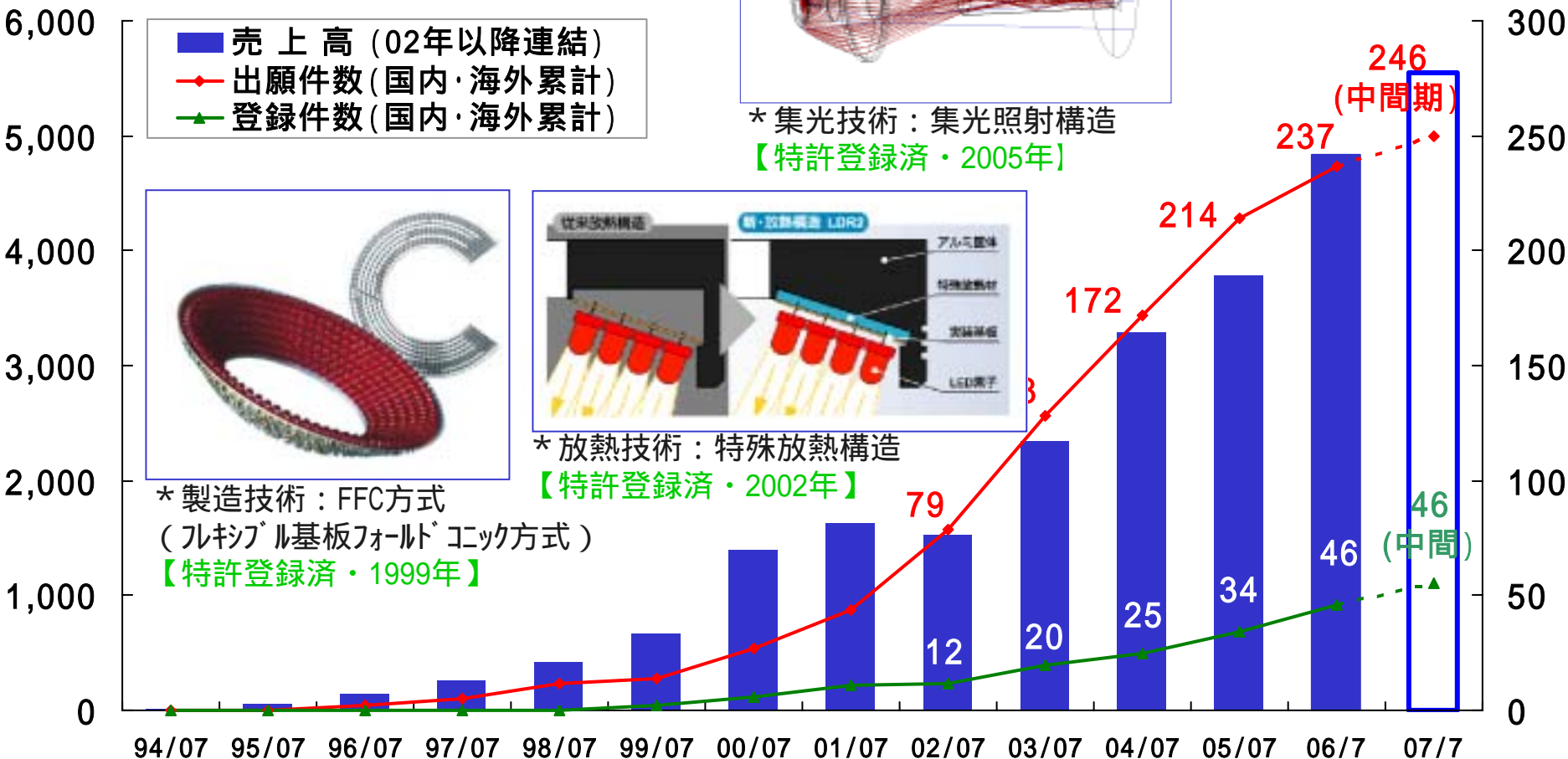


\* 放熱技術：特殊放熱構造  
【特許登録済・2002年】



\* 集光技術：集光照射構造  
【特許登録済・2005年】

(単位:件)



## ライティング技術〔蓄積データ：40,000件〕 を活用して最適なライティングを提案



豊富な製品  
ラインアップ  
標準品 400種類



技術サポート  
の充実



カスタム品対応力  
月平均 70件



ライティング  
セミナーの実施  
年間約 60件

# 中間決算説明

## 〔各業界の状況〕

電子・半導体業界における設備投資が増加傾向

飲料関連(缶、ペットボトル、キャップ)の設備投資が回復

自動車業界における設備投資は一服感

## 〔画像処理用照明市場の状況〕

ラインセンサ市場におけるLED照明への置き換え

三品業界および自動車業界における自動化

# 2007年7月期中間期の総括

## 〔工業用LED照明事業〕

- ◆ ラインセンサ用照明による市場開拓
- ◆ 三品業界におけるフラット・ドーム照明の浸透
- ◆ 海外におけるソリューションビジネスの充実
- ◆ 新製品の開発により新たな検査領域へ



## 〔その他新規分野〕

- ◆ 顕微鏡光源用LED照明の販売増
- ◆ 光技術研究所において研究・開発に注力

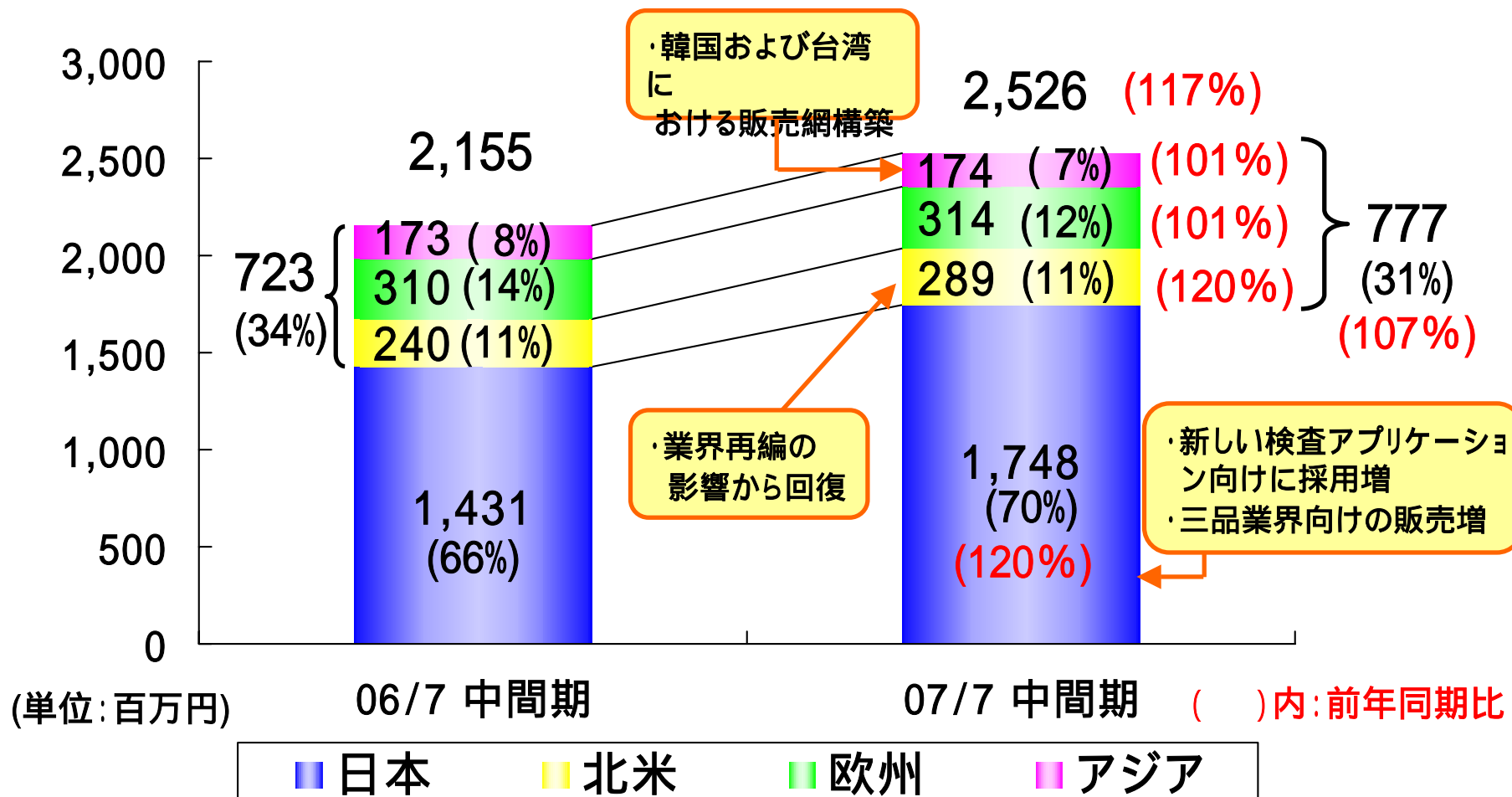
# 連結損益計算書

単位:百万円 ( )内:対売上比

	2006/7 中間期	2007/7 中間期	前年 同期比	中間期 計画比	2007/7 通期計画	前期比
売上高	2,155	2,526	117%	97%	5,550	115%
国内(工業用)	1,370(63.6%)	1,641(65.0%)	120%	96%	3,650(65.8%)	115%
海外(工業用)	724(33.6%)	777(30.8%)	107%	102%	1,570(28.3%)	103%
新規分野	61( 2.8%)	106( 4.2%)	174%	82%	330( 5.9%)	260%
売上総利益	1,300(60.3%)	1,575(62.4%)	121%	97%	3,450(62.2%)	117%
販売管理費	1,018(47.3%)	1,195(47.4%)	117%	95%	2,540(45.8%)	118%
営業利益	281(13.1%)	379(15.0%)	135%	104%	910(16.4%)	113%
経常利益	297(13.8%)	392(15.5%)	132%	109%	900(16.2%)	111%
当期純利益	209( 9.7%)	219( 8.7%)	105%	100%	560(10.1%)	107%
研究開発費	179( 8.3%)	190( 7.5%)	106%	78%	512( 9.2%)	140%
減価償却費	45( 2.1%)	55( 2.2%)	122%	82%	147( 2.6%)	148%
設備投資額	65( 3.1%)	315(12.4%)	485%	171%	215( 3.9%)	147%

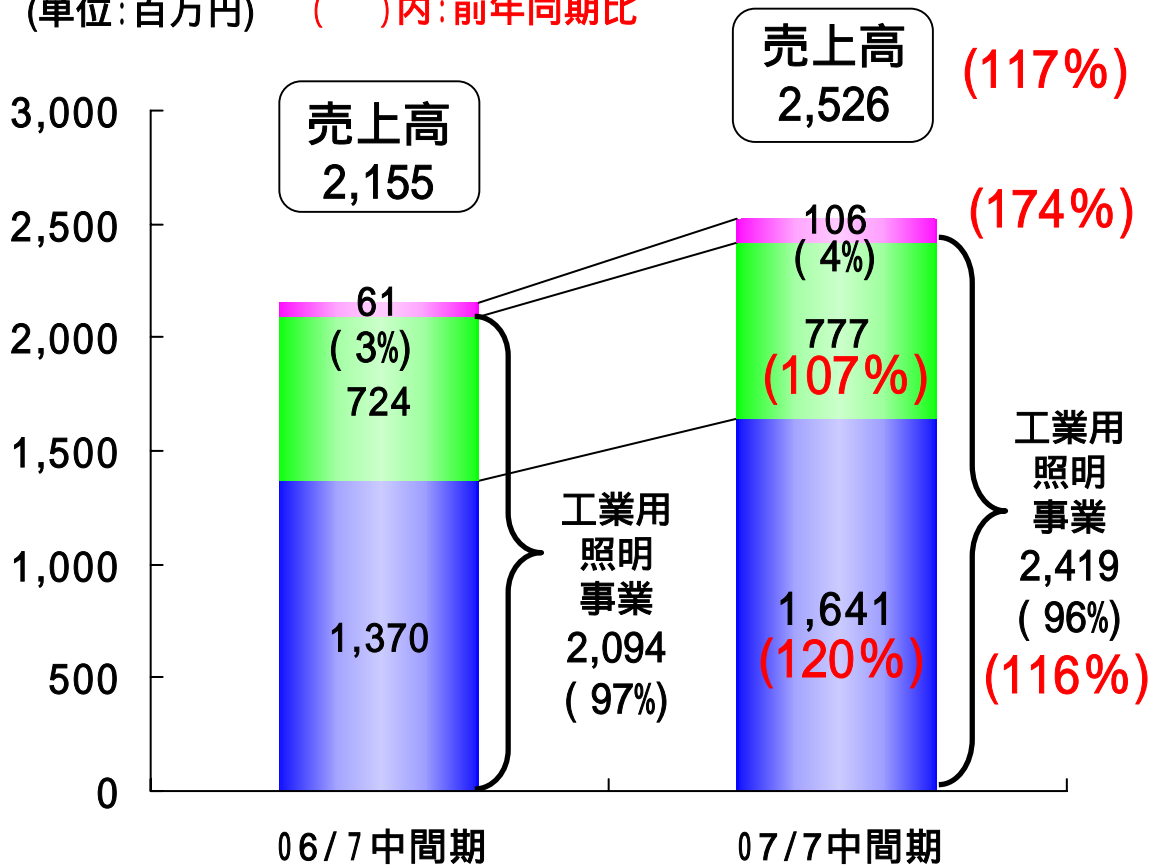


# 地域別売上高(連結)

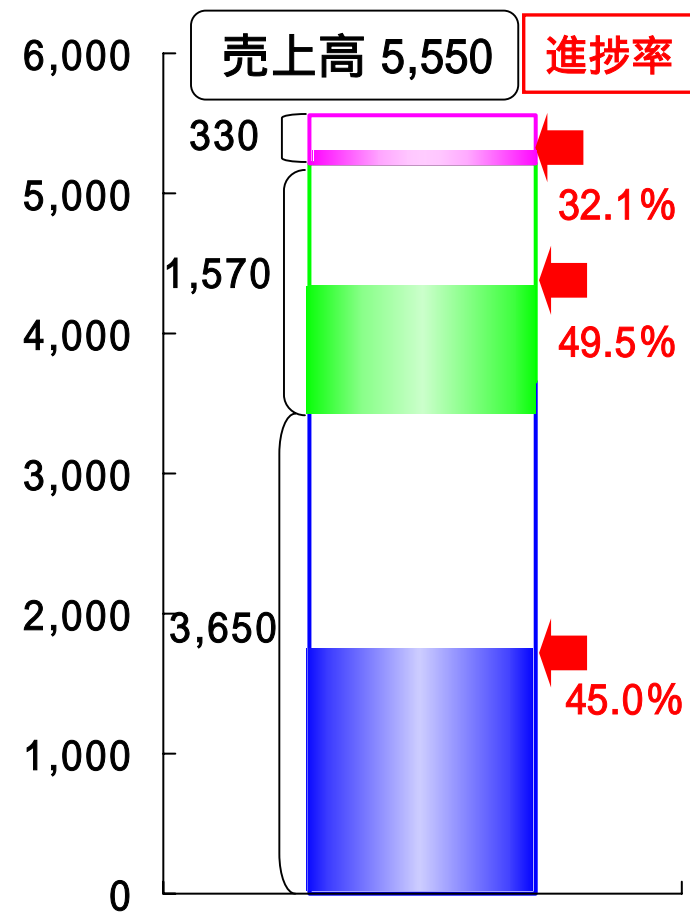


# 事業別売上高(連結)

(単位:百万円) ( )内:前年同期比



■ 国内(工業用) ■ 海外(工業用) ■ その他新規分野



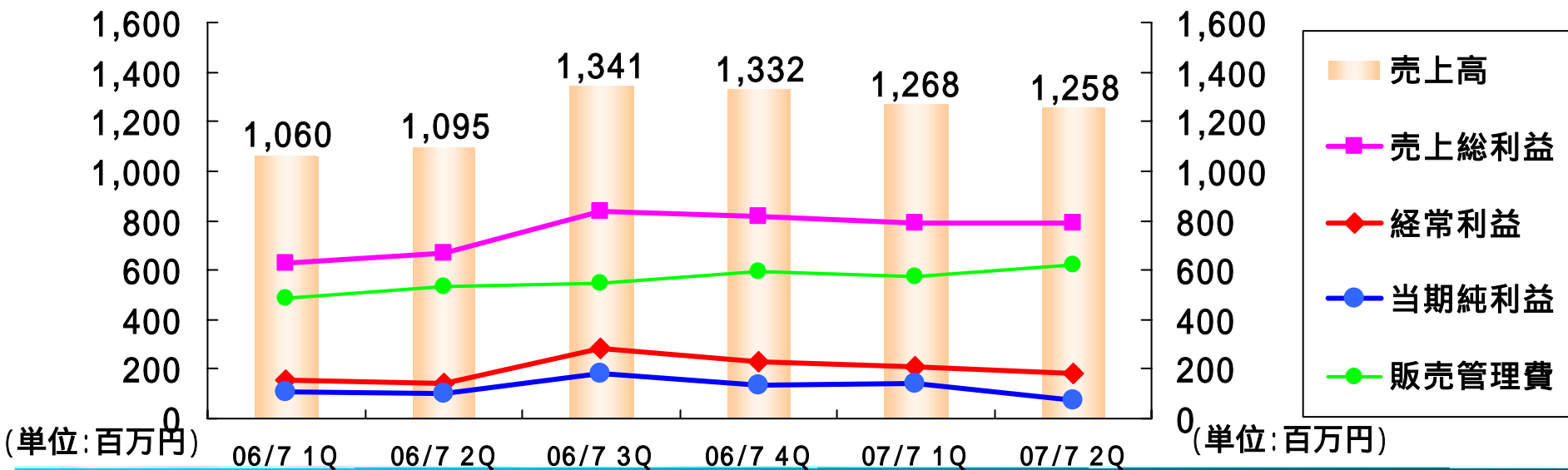
(単位:百万円) 07/7通期計画

■ 国内 ■ 海外 ■ その他新規分野

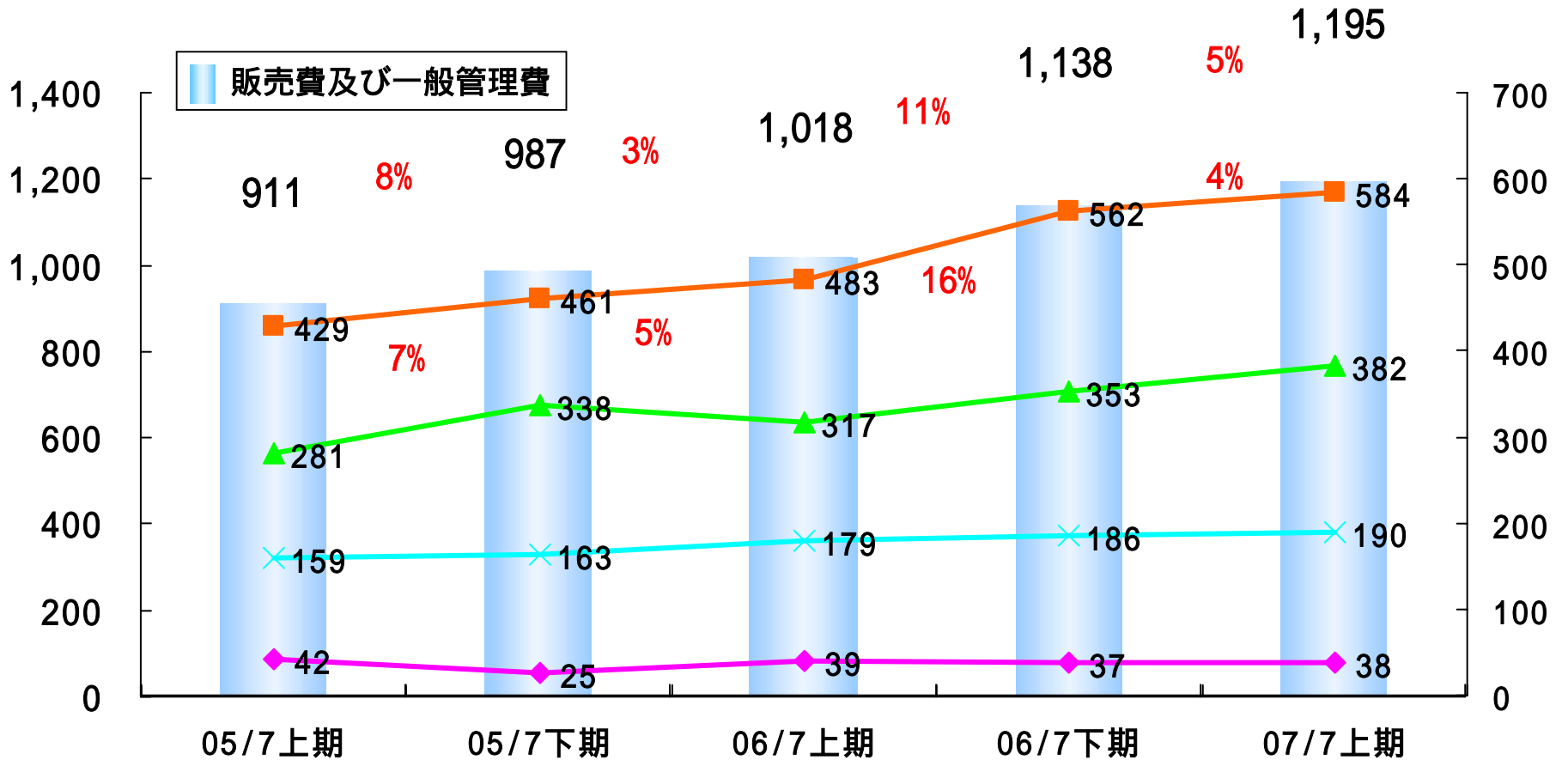
# 利益率推移 (連結・四半期)

(単位:百万円)

	06/7 1Q	06/7 2Q	06/7 3Q	06/7 4Q	07/7 1Q	07/7 2Q
売上高	1,060	1,095	1,341	1,332	1,268	1,258
売上総利益	630 (59.5%)	669 (61.1%)	838 (62.5%)	819 (61.5%)	788 (62.1%)	787 (62.6%)
販売管理費	484 (45.7%)	533 (48.7%)	545 (40.6%)	592 (44.4%)	577 (45.5%)	618 (49.2%)
営業利益	145 (13.7%)	135 (12.4%)	293 (21.9%)	227 (17.0%)	210 (16.6%)	169 (13.4%)
経常利益	153 (14.5%)	143 (13.1%)	282 (21.0%)	229 (17.2%)	212 (16.7%)	179 (14.2%)
当期純利益	105 (10.0%)	103 (9.4%)	182 (13.6%)	133 (10.0%)	142 (11.2%)	77 (6.1%)



# 販売費及び一般管理費（連結）



(単位:百万円)    ■ 人件費    ▲ その他    × 研究開発費    ◆ 販売促進費および展示会費    (単位:百万円)

# 研究開発費の推移

【累計】

(単位:百万円)

	04/7 通期	05/7 通期	06/7 通期	07/7 中間期	07/7 通期計画
研究開発費	166	323	365	190	512
対売上比率	5.0%	8.7%	7.6%	7.5%	9.2%

【2006/8～2007/1に発売した新製品】

- 2006年9月 紫外光LED照明 「UVシリーズ」全31機種
- 2006年9月 赤外光LED照明 「IRシリーズ」全32機種
- 2007年1月 高輝度白色LED照明 「SW2シリーズ」全36機種

【光技術研究所のテーマ】

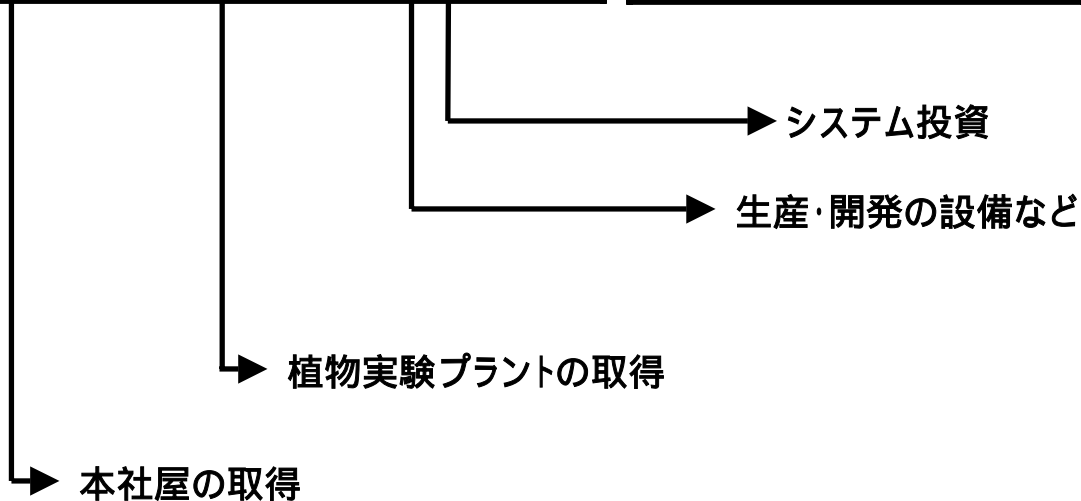
全38テーマが進行中

# 設備投資および減価償却

【累計】

(単位:百万円)

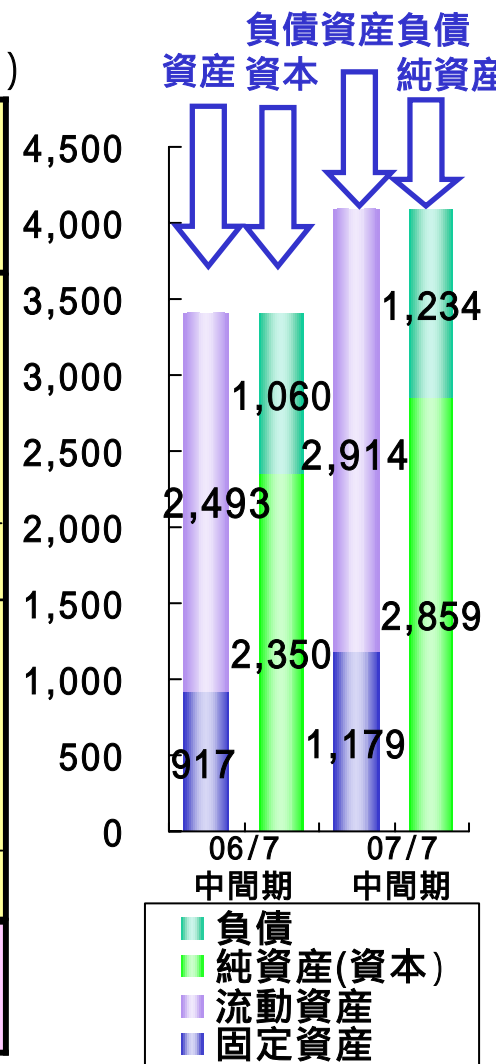
	04/7 通期	05/7 通期	06/7 通期	07/7 中間期	07/7 通期計画
設備投資	521	267	146	315	215
有形固定資産	515	239	87	294	142
無形固定資産	6	27	59	21	73
減価償却	44	74	99	55	147



# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

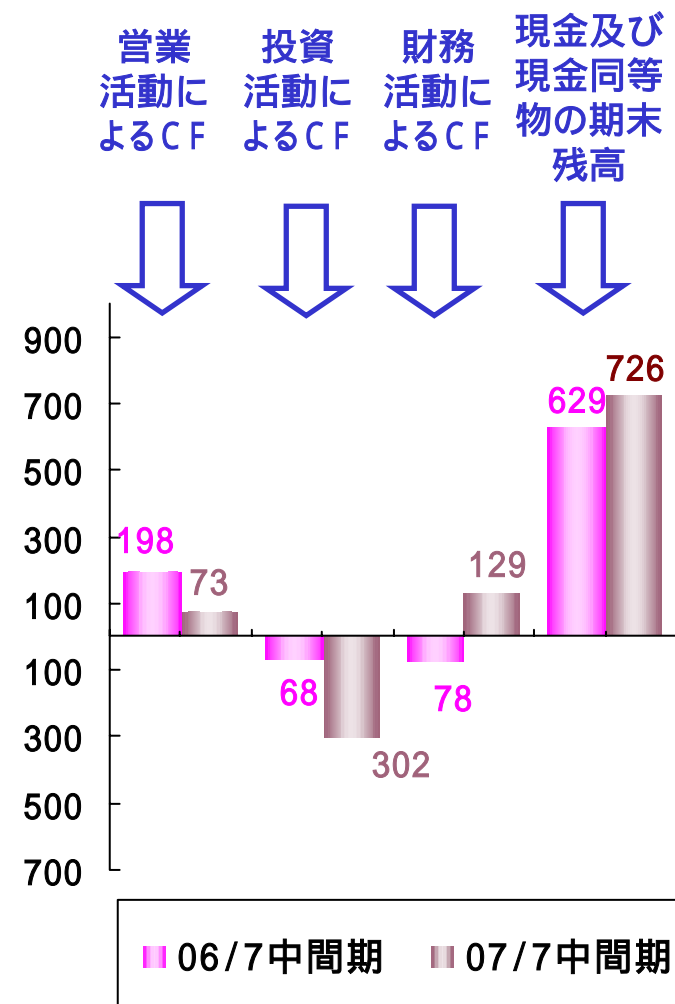
資産	06/7 中間期	07/7 中間期	負債・純資産	06/7 中間期	07/7 中間期
現金及び預金	663	754	流動負債	608	978
受取手形・売掛金	1,223	1,336	固定負債	452	255
たな卸資産	533	730			
その他	74	94			
<b>流動資産合計</b>	<b>2,493</b>	<b>2,914</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,060</b>	<b>1,234</b>
有形固定資産	723	990	資本金	457	457
無形固定資産	114	123	資本剰余金	572	573
その他	79	65	利益剰余金	1,319	1,813
			為替換算調整勘定	1	14
<b>固定資産合計</b>	<b>917</b>	<b>1,179</b>	<b>純資産合計</b>	<b>2,350</b>	<b>2,859</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,410</b>	<b>4,093</b>	<b>負債・純資産 合計</b>	<b>3,410</b>	<b>4,093</b>



# キャッシュフロー(連結)

(単位:百万円)

	06/7 中間期	07/7 中間期
<b>営業活動によるCF</b>	<b>198</b>	<b>73</b>
税金等調整前当期純利益	301	391
減価償却費	45	55
売上債権の増減額	53	87
たな卸資産の増減額	89	96
法人税等の支払額	151	185
<b>投資活動によるCF</b>	<b>68</b>	<b>302</b>
有形固定資産取得による支出	28	283
無形固定資産取得による支出	37	14
<b>財務活動によるCF</b>	<b>78</b>	<b>129</b>
長期借入金の返済による支出	53	59
短期借入金の増減額	-	230
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>629</b>	<b>726</b>





# 上期の進捗および下期の計画

## 【重点施策】

- 〔1〕 ハロゲン照明・蛍光灯置き換え戦略による  
LED照明の浸透
- 〔2〕 トータルソリューションのグローバル展開
- 〔3〕 光技術研究所新設による新規事業分野の開拓促進
- 〔4〕 環境・健康にやさしい照明づくりによる  
企業価値の向上
- 〔5〕 QCD Sの継続的改善によるお客様満足度の向上
- 〔6〕 特許戦略による差別化の強化
- 〔7〕 キャッシュフロー経営に向けた財務体質の強化

# 製品の浸透による業界の拡がり

## ラインセンサ照明 HLNDシリーズ



ラインセンサ照明  
市場での拡販

F P D 関連

基板検査装置  
紙(ウェブ)検査装置  
を中心に採用

## フラット・ドーム照明 LFXシリーズ



三品業界における拡販

薬品メーカー  
食品メーカー  
を中心に採用

## 高輝度スポットライト照明 HSLシリーズ



自動車業界における拡販

自動車メーカーを  
中心に採用

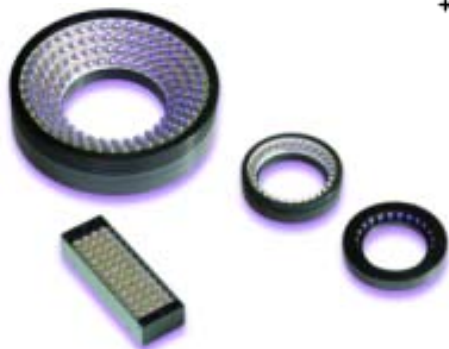
# 新規アプリケーションの開拓

可視光から不可視光へ

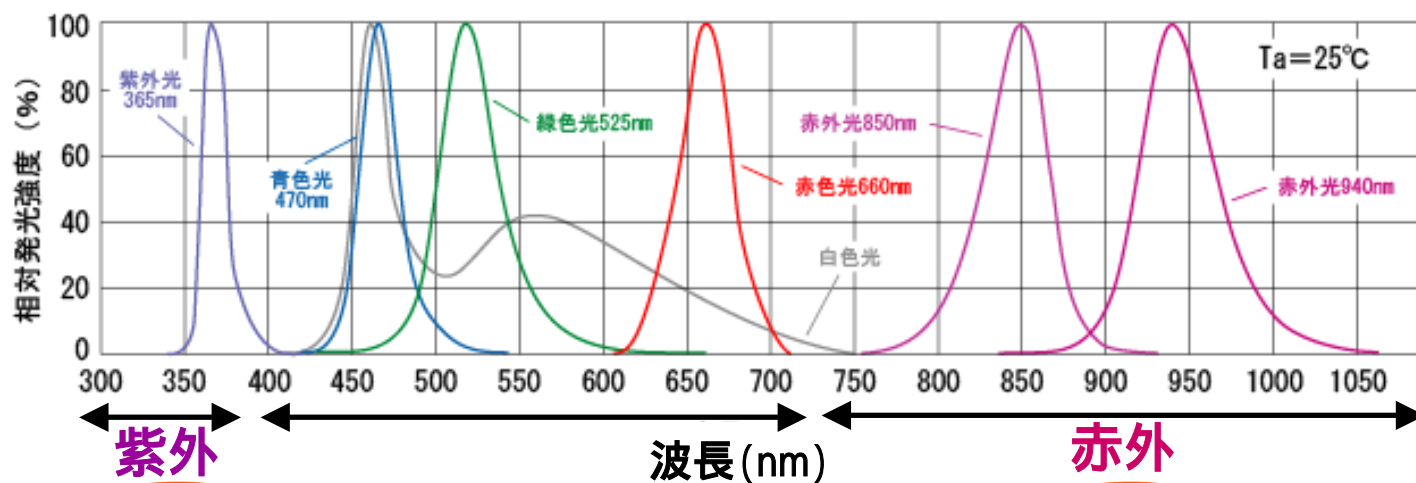


赤外光LED照明  
IRシリーズ  
全32機種  
(2006年9月発売)

紫外光LED照明  
UVシリーズ  
全31機種  
(2006年9月発売)



各色LEDの発光スペクトル分布



紫外 不可視光 可視光 赤外 不可視光  
新たな領域

# 新規アプリケーションの開拓

カラー検査向けの製品ラインアップを充実



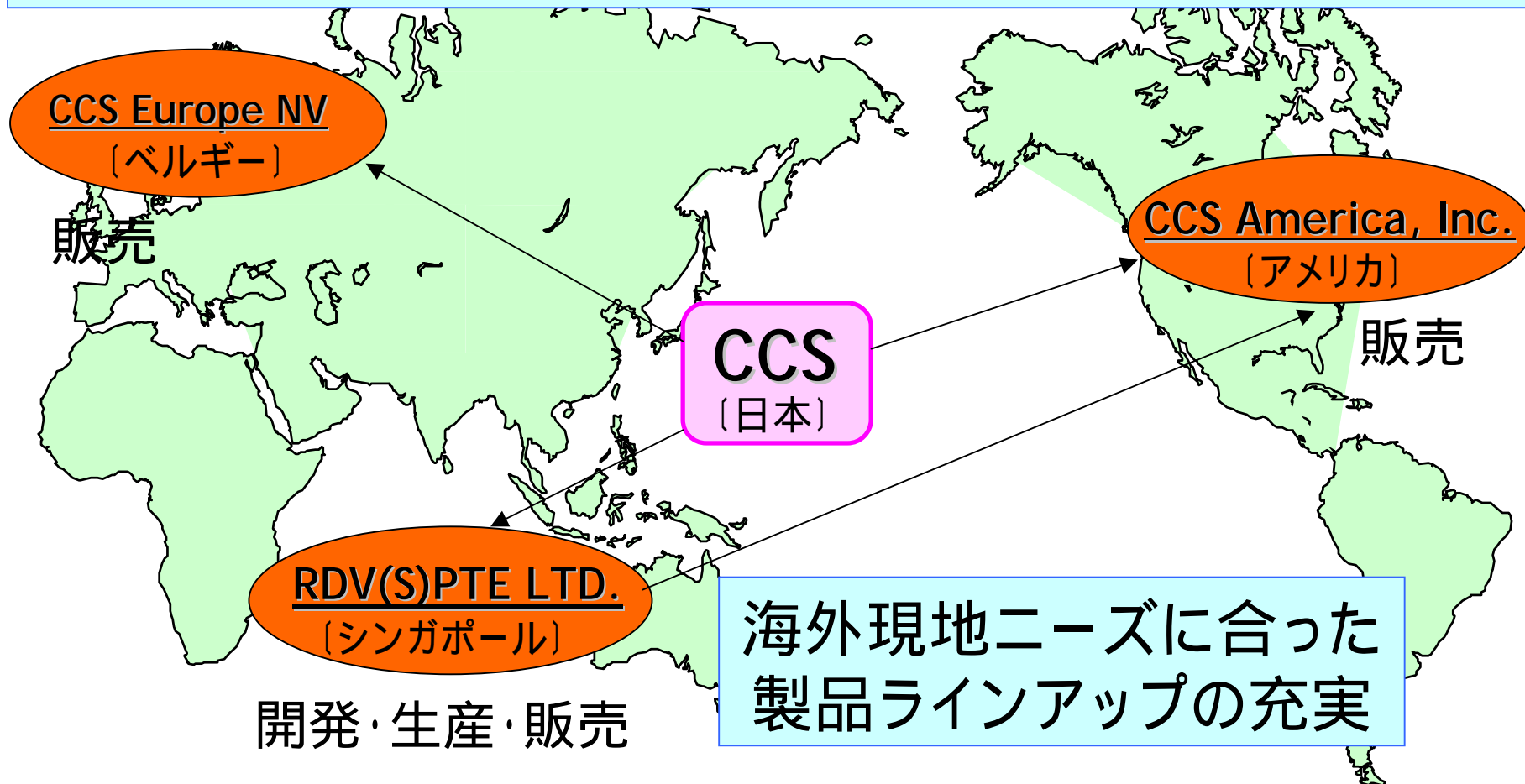
従来の2倍の明るさを実現した  
高輝度白色LED照明  
SW2シリーズ 全36機種  
〔2007年1月発売〕



左が「SW2シリーズ」、右は従来品

# 海外におけるソリューションの充実

## 各国におけるライティングソリューションの充実



# LEDの応用技術の開発に注力

植物育成の研究  
植物育成用照明の商品開発  
植物育成実験プラントにおける野菜栽培

バイオ分野

光技術研究所  
の取組み  
テーマ  
38件

LEDによる治療器の研究  
その他研究

メディカル  
分野

オリジナル紫外光LED  
(2006年9月商品化)



灯籠の商品開発  
その他の商品開発

LED  
その他  
応用分野

# 環境にやさしい照明づくりを推進

## 6 有害物質を含まない商品の提供

R o H S 指令対応完了(2006年6月)

R o H S 指令の施行【2006年7月】

欧州(EU)における環境負荷物質の規制

対象物質:鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE

環境にやさしいLED照明づくり・人の眼にやさしいLED照明づくりを目指して

シーシーエスはLED照明を通して社会に貢献していきます



# 2007年7月期連結業績の見通し

単位:百万円 ( )内:構成比

	2007/7 中間期	前年 同期比	中間期 計画比	2007/7 通期計画	前期比
売上高	2,526	117%	97%	5,550	115%
国内(工業用)	1,641(65.0%)	120%	96%	3,650(65.8%)	115%
海外(工業用)	777(30.8%)	107%	102%	1,570(28.3%)	103%
新規分野	106( 4.2%)	174%	82%	330( 5.9%)	260%
売上総利益	1,575(62.4%)	121%	97%	3,450(62.2%)	117%
販売管理費	1,195(47.4%)	117%	95%	2,540(45.8%)	118%
営業利益	379(15.0%)	135%	104%	910(16.4%)	113%
経常利益	392(15.5%)	132%	109%	900(16.2%)	111%
当期純利益	219( 8.7%)	105%	100%	560(10.1%)	107%
研究開発費	190( 7.5%)	106%	78%	512( 9.2%)	140%
減価償却費	55( 2.2%)	122%	82%	47( 2.6%)	148%
設備投資額	315(12.4%)	485%	171%	215( 3.9%)	147%

【国内(工業用)】

- ・ラインセンサ市場における拡販
- ・フラット・ドーム照明による三品業界における拡販
- ・紫外光LED照明、赤外光LED照明による不可視光領域における浸透
- ・高輝度白色LED照明の浸透

【海外(工業用)】

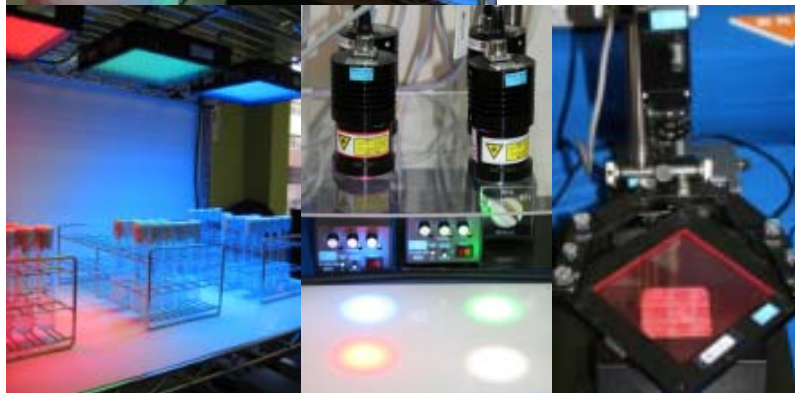
- ・各国におけるソリューションビジネスの充実
- ・アジアは韓国、台湾に注力

【新規分野】

- ・顕微鏡光源用の伸び

## 注意事項

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



2007年3月9日

(ジャスダック、証券コード6669)

## シーシーエス株式会社

<http://www.ccs-inc.co.jp>

管理部広報IR課

TEL (075) 415-8291 FAX (075) 415-7724

京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374番地

## 補足資料

# シーシーエスの企業理念

社名の由来: CCS (Creative Customer Satisfaction)

社是	お客様に愛と感謝
企業理念	光を科学し、 社会に貢献する
企業ビジョン	新たな光産業を創出し、 光の世界企業を目指す

# 沿革

2007年1月31日現在  
資本金:4億5,705万円  
従業員数:210名(連結)

- 1992年 個人事業として開業(京都市中京区)
- 1993年 シーシーエス株式会社を設立
- 1999年 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000年 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001年 本社移転(京都市上京区)
- 2003年 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004年 1月 CCSロジスティックセンターを開設(京都市伏見区)  
6月 ジャスダックに上場  
9月 RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)  
11月 CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)



本社



東京営業所  
(高輪台グリーンビル9F)

# 販売ルート

(工業用LED照明事業)

販売代理店を中心とした販売網

シーシーエス株式会社

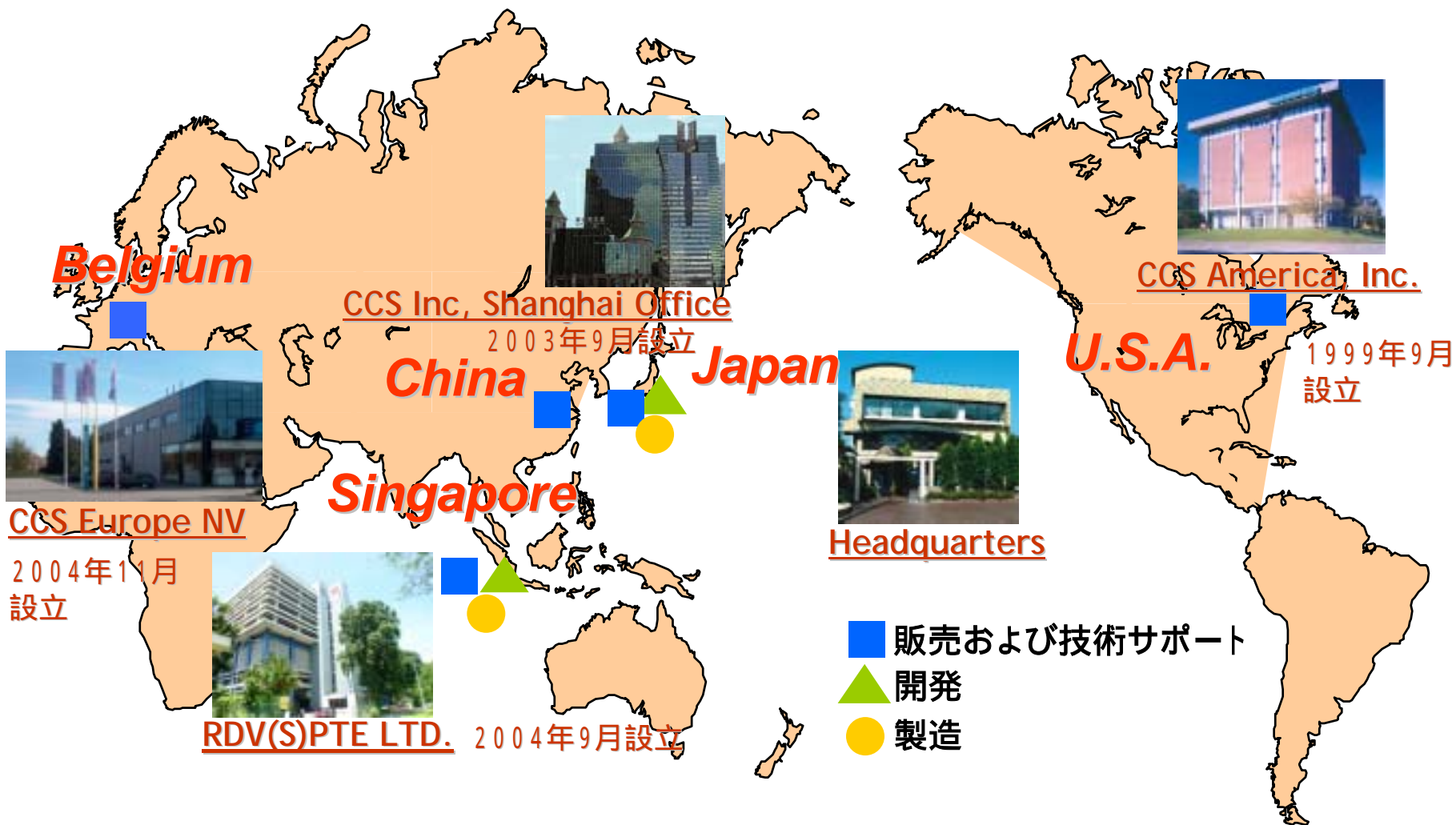
システムインテグレーター  
商社  
装置メーカー  
画像処理メーカー

<エンドユーザー>

電子半導体業界  
自動車業界  
三品業界  
その他各業界  
(食品 薬品 化粧品)

一部直接販売

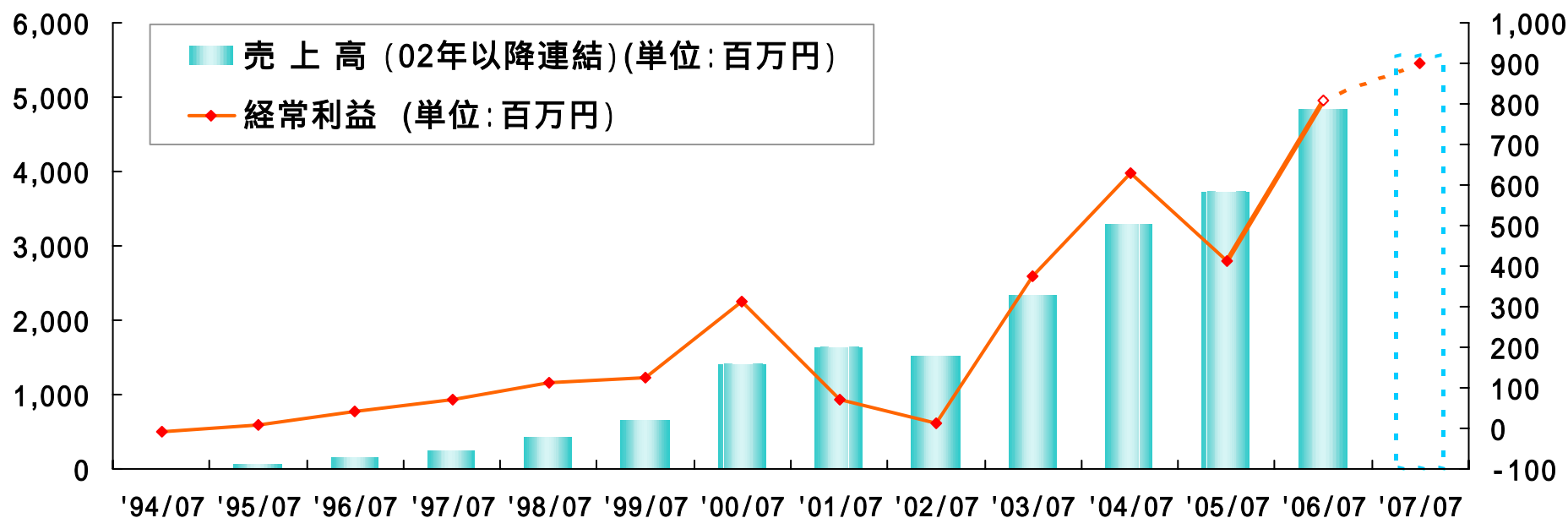
# グローバル展開 ~ 海外向けが約3割 ~



# 業績の推移

(単位:百万円)

	94/07	95/07	96/07	97/07	98/07	99/07	00/07	01/07	02/07	03/07	04/07	05/07	06/07	07/07 (計画)
売上高	11	64	152	260	423	668	1,404	1,635	1,523	2,342	3,290	3,719	4,830	5,550
経常利益	-8	7	41	69	111	125	311	71	13	376	628	413	808	900





# トピックス

2004

- 8 高輝度スポット照明「HLV-24-3W」を発売  
HLV専用電源「PJシリーズ」を発売



- 9 RDV (S) PTE LTDの株式取得(100%子会社化)  
植物育成装置「INS-96」を発売



- 倍率可変マクロレンズ「SE-16シリーズ」を発売



- 11 欧州現地法人CCS Europe NVをベルギーに設立

- 12 癒しのあかり「Athena」(アテナ)を発売



- 1 実体顕微鏡用LED照明「CSR」を開発  
第22回エレクトロテスト・ジャパンに出展



- 2 歯科用レジン硬化照射器を発売



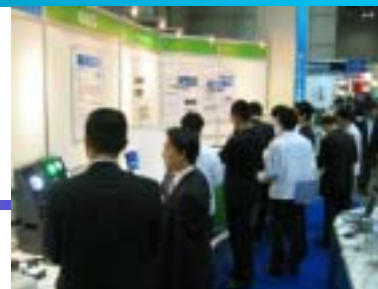
- 3 植物研究用LED照明ユニット「ISシリーズ」を発売  
顕微鏡用途のLED照明(数機種)を発売



- 4 投資家向け広報サイトの優良企業2005を受賞

# トピックス

- 2005
- 5 第5回国際バイオEXPO2005に出展  
～ 農業用照明および顕微鏡用照明の展示～  
～ セミナーにて発表  
「研究と生産の架け橋となるLED植物育成研究機器」～



愛知万博「光未来展」に出展



Vision Show West 2005(C.A., U.S.A.)に出展



- 6 第5回光ナノテクフェア2005に出展  
～ 顕微鏡用照明ラインアップの展示～

第11回画像センシング展2005に出展  
～ 新製品の展示:特にライン照明への注目度大～

2005自動車部品生産システム展に出展  
～ 部品検査、2次元コード読み取り、触媒の検査における技術紹介～



植物育成実験プラントよりレタスを出荷

品質マネジメントシステム  
ISO9001認証取得



# トピックス

2005

9 業界初フラット・ドーム照明「LFXシリーズ」を発売



10 第12回定時株主総会

LEDEX JAPAN 2005に出展～植物研究用LED照明～

12 環境にやさしい高輝度LEDスポットライト照明  
「HSLシリーズ」を発売

ラインセンサカメラ用LED照明「HLNDシリーズ」を発売

「京都・嵐山花灯路」にてゆらぐLED灯籠150基を大覚寺に設置

個人投資家向け会社説明会(東京)

「デロイト アジア太平洋地域テクノロジー Fast500」を受賞

国際画像機器展に出展～新製品のラインアップ～



1 意匠権侵害訴訟の和解成立

顕微鏡用LED照明「CSR - 540SW」「CSR - 600SW」を発売



エレクトロテストジャパンに出展  
～新製品のラインナップ～

3 植物研究用LED照明ユニット「IS - mini」を発売



# トピックス

4 投資家向け広報サイトの優良企業2006を受賞

5 国際バイオEXPO2006に出展 ~ 農業用照明および顕微鏡用照明の展示 ~

6 顕微鏡用高照度LEDデュアルファイバー照明「PMLシリーズ」を発売

対象機種全てにおいてRoHS指令対応を完了

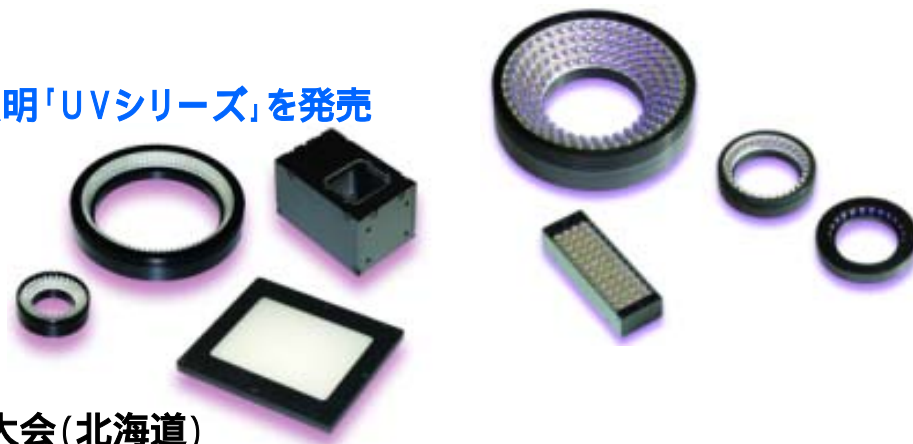
環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得

9 オリジナルLEDを採用した紫外光LED照明「UVシリーズ」を発売

赤外光LED照明「IRシリーズ」を発売

農業環境工学関連7学会2006年合同大会(北海道)

日本植物学会第70回大会(熊本)





# トピックス

2006

9 農業環境工学関連7学会2006年合同大会に出展

日本植物学会第70回大会に出展



10 大阪大学蛋白質研究所セミナーに出展

日本科学未来館(東京・お台場)企画展「65億人のサバイバル」に協賛

～2006年10月-2月～



11 Vision Show 2006 (欧州における画像処理業界最大の展示会)に出展

2006国際画像機器展に出展 ～工業用LED照明における製品ラインアップを  
拡充してプロモーション～

第11回青少年のための科学の祭典に出展



12 日本分子生物学会2006フォーラムに出展

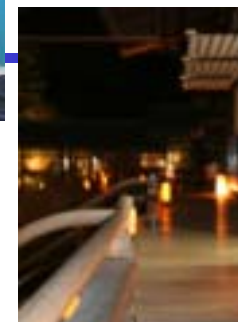
「京都・嵐山花灯路」にてゆらぐLED灯籠80基を大覚寺に設置

個人投資家向け会社説明会を開催(京都)



2007

1 高輝度白色LED照明「SW2シリーズ」を発売



全国各地の工業技術センター、大学・専門学校において  
国内および海外のお客様を対象として

リーディングカンパニーとして  
ライティング技術の確立に取り組む  
<年間 40~50件のセミナー>

マシンビジョン画像処理システムのためのライティング技術セミナーを実施



2006年11月・2006年2月  
高度ポリテクセンターにて



2006年10月  
大学の共同研究センターにて

# 米田社長プロフィール

A型 おうし座

1978年立命館大学 理工学部卒業

- 1979年 京都セラミック株式会社 入社
- 1980年 ダックエンジニアリング株式会社入社
- 1992年 個人でシーシーエスを創業
- 1993年 シーシーエス(株)設立(10月)
- 1994年 画像処理用LED照明事業に特化
- 2001年 半導体不況の影響で業績が低迷
- 2002年 1月から回復基調に  
成長の第2ステージに入る
- 2004年 ジャスダック上場(6月)

FA用自動機器  
メーカーとして

展示会に出展  
各社から注目

ノウハウ(15年間の  
研究)を活かして  
LED照明を開発